東京リハビリニュース

発行 / 社会福祉法人 東京リハビリ協会
東京都立川市富士見町 7-33-3　TEL042-521-1234　FAX042-521-1203
E-mail　ma01@trg.jp　ホームページ　http://www.trg.jp/

2020年10月
NO.177

季節の足音…

今号の主な記事

令和２年度前期決算・・・・・・・・・・・・・・・1～2
全国社会福祉協議会永年勤続表彰・・・・・・・・・・2
髙島屋デパート様の今年のおせち料理に採用される・・3
シリーズ 25 苦言 甘言・・・・・・・・・・・・4～5
事業所だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

令和２年度前期決算
収入７億６千３百万円　支出７億１千万円
収支差額５千３百万円

理事長　緑川清美

昨年末に突然出現した新型コロナウイルスは、わずか9ヶ月で世界中の百万人以上の命を奪った。今に至っても、感染者数・死者数はともに増加しており、世界では4千万人以上が感染、米国では1日の感染者数が8万人以上と過去最多を更新し、欧州も感染拡大により夜間の外出禁止措置が出される等、一向に静まる気配は見られない。

不安が残る今年の後期の始まりも、年度当初と同様に、例年とは違う体制でスタートした。

4月より、三密にならない感染対策を作業開始から終了まで継続している。多くの利用者の方々が、毎年楽しみにしている厚生旅行や体育大会、クリスマスパーティー等、当初に計画した全ての行事を、従事者の安全を守るため中止にした。

気を緩めてはいけないが、感染対策を徹底していれば、全ての行動が制限されるわけではない。少しずつ平常時に戻していかなければ、経済活動と同じで事業所運営も後退してしまう恐れがある。後期は徐々に歩みを戻し、今月より小グループに分け、利用者の方々と一緒にハイキング等の外出イベントや、職員に対する人材育成研修をオンライン形式で実施する等、活動を再開していく予定である。

前期実績について

2020年度前期が終了した。

予算については、年度当初よりコロナ禍において先行きが不透明ななかスタートしたため、4月から3ヶ月目の6月に当初予算との差異が生じ、理事会を開催し第一次補正予算を組んだ。その結果、前期収入7億6千3百万円に対し、支出7億1千万円、収支差額5千3百万円であって、就労支援事業収入については、前期収入の合計7億6千3百万円に対して、前年度は8億6千3百万円、前年比88%、マイナス1億円と前年より大幅に減少した。特に大きかったのは、ホテルリネン事業収入で前

年比51％（▲62、000千円）と半減した。コロナのせいにしたくはないが、ホテルを利用するお客様がいなければ、リハビリで貸し出しているリネン材も、未使用状態で売上にならない。医療リネン等についても、特に旧国立病院等は、4月以降患者様の減少等により、約2割の仕事が減少した。

リネン事業が収入のマイナスに大きく影響しているなか健闘したのは、新規事業として本格的始動から3年目のあわび養殖事業が、予算比、前年比とも増額した。あわびを購入していただく主なお取引き先である飲食店は、コロナの影響で大半が長期間休業、時短営業であったなか、スタート時よりリハビリのあわびを認めていただき、リハビリのあわびを使ったメニューをとり入れていただく等、数多くを採用していただいた。ご理解いただいた固定客の方々に支えられ、予算比235％（4、460千円）、前年比107％（480千円）と結果を残した。

また、ホテルリネン事業についても、GOTOキャンペーンや東京都の観光事業に対する助成事業により回復傾向にあり、期限付であるものの今後を注視していきたい。

主な支出について、人件費は利用者工賃、職員給与とも年度当初に昇給し、賞与も前年同額水準を維持したため、前年比101％、2億8千7百万円を支給した。

人件費以外の商品仕入、車両費、原材料等光熱水費の支出は生産量の減少に伴い使用量が抑えられた事により前年比89％、支出を9千万円減少させた。

すでに今年度の後期はスタートしたが、4月～9月の半期決算の結果を受け、後期予算は、収入・支出予算を一科目毎に月次で見込み額を詳細に算出し、後期補正予算を編成した。いまだ収入の回復に先行きが見通せない状況のなか、年度当初に計画した通り、全員営業の体制をとり収入を増やし、徹底した経費削減により支出を抑え、事業計画の収支差額1億円を予定通り実行する。

目的に向かって自分の仕事をやり抜く

「福祉サービスの基本的理念」として①「個人の尊厳の保持」②「利用者が心身ともに健やかに育成される」③「その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように支援する」（自立支援）が社会福祉法第3条にある。

弊会の経営理念も『障害があっても同年齢の市民と同等の生活環境のもと、地域において自立した生活を構築する事を支援する』事であり、利用者の方々の自立支援を目的としている。

暫く厳しい状況（見えない敵との戦いが続くなか）に皆で一丸となり、立ち向かわなくてはならない。こんな時に否定的な事を言っても、言われても気持ちは萎える。大事な事は、やると決めたら前を向き、今出来る事を一人ひとりが、しっかりやり抜く事である。

おめでとうございます！ 全国社会福祉協議会より 永年勤続表彰受賞

日の出事業所の敷根恵美子マネージャーが令和2年度全国社会就労センター協議会より「永年勤続表彰」を受賞した。

例年であれば、総合研究大会の中で表彰式が行われるが、本年度は新型コロナウイルスの影響により大会は中止となってしまった。

長年にわたり社会福祉に従事してきた功績が評価された。

これまでに培ってきた経験と知識を、今後の利用者支援や職員育成にも活かしてもらいたい。

（管理部総務課 中村恵輔）

敷根恵美子マネージャー

関係者へ
特別なお知らせ
お江戸のあわび屋
韓国産蝦夷あわび
特別価格でご案内いたします！
あわびで食卓を華やかにしませんか。
プレゼントや贈答用に最適！
この機会にぜひお試しください。
詳細は 日の出事業所 住井 までお気軽にお申し付け下さい

日本テレビ様・テレビ朝日様で紹介!

髙島屋(デパート)様の今年のおせち料理に採用される!

今年に入り弊会のあわび養殖事業に対し、日本テレビ様やテレビ朝日様から取材が入り、放映後大きな反響を呼んでいる。

大変ありがたい事であり、幾つかの事例を報告させていただく。

おせち料理の受付が始まりました是非ご利用下さい

「テレビで見た。興味があるので話をしたい」と髙島屋デパートのバイヤー様からご連絡を頂き、商談の結果、先般「おせち料理に採用が決定した」と吉報があった。驚いたのは数日後、立派な総合カタログが送付されてきたので開封すると、なんと弊会のあわびが真ん中に、見るからに美味しそうなおせち料理のセットが写っていた。

是非今年のおせち料理は弊会が養殖した東京産あわびの入ったセットをご利用下さい。

引き続きあわび好評

コロナの影響を正面から受け、今年に入り多くの魚貝関連業種は客足が遠のき、中には臨時休業や閉店する業種も多く出ていたが、最近やっと少しずつではあるが客足も戻りつつある。

コロナに負けず、アイデアと味で使用したあわび実に5、300個

小金井市で経営しているフレンチレストラン「TERAKOYA」様。襲い来るコロナを蹴散らして、アイデアと味で特別期間の6月から9月まで連日満席で、多くのあわびをご購入頂いた。

貴店はコロナの中、8月に東京都港区竹芝に支店を開業した。

代表者には、今後開催される職員研修会にて、講演を頂きたい。

さて、今年度上半期(4~9月)の養殖あわびの実績資料が一日に提出された。

◎総販売個数　9、506個

□業種別ベスト5

1、レストラン……5件
2、スーパー……2件
3、ホテルレストラン……1件
4、食品加工業……1件
5、高齢者施設……1件

業種別では、1/2の5軒がレストランである。

後期は、東京都もGOTOトラベルに参加出来るので、上向きを期待したい。

また、待望の「東京産あわび」も市場に出せるので、後期を期待してほしい。

順調なめだか養殖事業

魚貝部門の新たな取り組みとして始めためだか養殖であるが、家庭等で飼育や繁殖のブームが西の方から東京に向かって広がってきている。

その現れとして、最近マスコミに取り上げられる回数が増えてきており、先日も東京都品川区にあるめだか専門販売店では、一つがい100円のめだかを複数回掛け合わせて珍種を作り、1万円で販売されている事をテレビキャスターが説明していた。弊会では、ホールに本格的な養殖コーナーを設け、オンリーワンの品種作りに励んでいる。リネンサプライのような大型の機械設備も光熱費も必要としないので、技術力を高めリハビリだけの品種作りにチャレンジしているところである。

オンリーワンのめだか養殖挑戦中♪

(就労事業部マネージャー　住井信裕)

Series シリーズ 25

苦言甘言

理事　斎藤公生

四季を蔑ろにされた一年
振り回された生活

昨年末に始まった、新型コロナウイルス（以下コロナ）は、今までに経験したことの無い、人間を比喩的に精神的に、身動きの出来ない状態に陥れた。

美しい日本の四季は、国民に楽しみを与えてくれていたが、コロナが奪い取ってしまった。

春の桜花鑑賞に始まり、紅葉の晩秋を迎えているのに、大手を振っての外出には程遠い閉塞感漂う日々である。正に、Ｓａｔａｎ（サタン）に翻弄されている。

この間、５００名を超える利用者や正・非職員や委託業者や家族各位に一名の罹患者も出さなかった事は、何よりである。

出勤時や昼食開始時にサビ管や職員が担当してくれている検温や健康チェックのお陰と「感謝」である。

振り向くだけでは敗者になる
前向きにコロナに勝つ対応策を

コロナというＳａｔａｎが襲ってくるとは世界中の誰一人も予想していなかったと思う。

だから、予防する手立ても考えていなかった。あれからほぼ一年、欧米では「今年末」いや「来春」だと新薬の誕生に期待を抱かせる情報がマスコミから流れてくるが、我が国に関しては新薬に関する情報が殆ど出て来ないのは残念である。現在でも、米国・ブラジル・インド・欧州・アフリカ諸国等では、大量の罹患者が出ている為、終焉までには相当の時間を要すると思っていた方が正解と考える。

１３５名前後のＢ型利用者に「全国平均4倍の工賃を支給しているリハビリ協会の経営は大丈夫か」と心配してくれる方もいるが、対策を取っているのでご安心を。その理由を次に記述する。

弊会の現状報告

瞬時に提出出来る分析資料
44年間の資料がコロナの大ピンチを救っている

創業44年間の経営関連数値の全ては、毎月10日前後に開催されている幹部による「経営推進会議」で報告・議論されている。利用者や職員には、会議の出席者から毎回決定事項や変更事項について報告されていると思うが、改めてこの機会に説明をしておく。

毎月、報告されている重要内容は次の通り。

1、予算実績総括表
2、部別収入一覧表
3、就労支援事業別活動収支明細表
4、年間・月間資金繰表
5、事業所別作業生産分析表
6、人件費・報酬月別収支実績表
7、原材料・光熱水費等経費分析表
8、車両使用個別実績関連資料
9、ウエス事業報告書
10、水槽メンテナンス管理表
11、新規・解約顧客管理リスト

特に重要な項目についても報告している。

①預貯金残高
②借入金残高・比率（現在は０円）
③就労支援事業収入
④障害福祉サービス事業収入
⑤職員給与と人数・人件費比率
⑥利用者工賃・比率
⑦クリーニング生産量（洗濯・仕上げ）
・職員一人当売上額
⑧観賞魚リース事業歴代契約数
⑨作業科目別売上額

これらについて、毎月新数値が書き替えられた約30頁にわたる資料が会議に提出され、報告・議論されている。内容を知りたい従事者は、出席している部署の担当者に質問の事。

但し、多くの資料は外部に漏れると経営に支障をきたすので、㊙扱いになっており、貸す事やコピー等は不可となっている。

ワンチームで収入拡大
観賞魚リース事業の累計売上額32億円（契約数2千台弱）

高齢者施設開設時代の１９８０年代に作業科目として採用した「高齢者おむつリネン」は、特養施設の増設で僅か10年間で年商5億円台に押し上げたが、あれから20余年、時代の流れと共に紙おむつが急成長し、布おむつは衰退した。

この間、自主開発した観賞魚リース事業を始め、病院寝具リネンや白衣・タオルのクリーニング、ウエス等に営業力を注いできた。

更に、3年半前から急増してきた訪日者や東京オリ・パラ開催を当てに東京近辺には２００近いホテル建設が始まり、弊会も衰退しているダイアパーリネンに変わる作業科目として、日産7千人分の処理が出来、年商5.4億円を超える整備を行ない、令和元年には2億7千万円の売上を確保し、ダイアパーリネンの減少をカバー出来るようになった。

利用者工賃に貢献
自主開発商品「移動水族館 観賞魚リース」

自主開発した「観賞魚リース事業」を新規科目として採用し、累計契約台数も約2千台、累計契約額32億円を超え、利用者工賃支給に大きく貢献してきた。

事業収入状況をまとめると、令和元年には左記の売上額を確保するまでになり、かってのおむつリネンの売上を凌駕する迄に成長した。

①病院リネン　367百万円
②観賞魚リース　170百万円
③タオル等　129百万円
④ウエス　57百万円
⑤ホテルリネン　278百万円
⑥その他　276百万円
計　1、277百万円

さて、ホテルリネンも約3年間の準備期間を経て、本格的に稼働するところに出現したのがコロナというSatan。ホテルリネン事業に当たり設計したのが、

・洗濯…日産6千人分の機器整備
・年商…約5億7千万円の収入予定

利用者や職員が作業に慣れる迄は、

・日産80％の4千8百人処理
・年商…約4億6千万円とした。

○準備期間の売上額推移
・1年目（2017年度）約1億7千万円
・2年目（2018年度）約1億9千万円
・3年目（2019年度）約2億8千万円

コロナ出現で、今年1月から訪日者数が減少し、4月には前年対比▲80％と信じられない売上額減少、今後の市場予測は、コロナ発症者の数値とにらみ合いになるが、今月1日から東京都のGOTOトラベル参加が解除される事によって、日に日にホテル利用者が増加してきている。最低限今年度の補正予算をクリアする事を目標に取り組んでいる。

後期乗り切るには

◎経費の徹底見直し、特にリネン材
管理、作業所の経費節減、人件費・配送費・機器管理・不良品撲滅

◎営業予算の徹底管理
新規予算の完全達成の為の定期的チェックと対策

◎利用者処遇の当初予算に基づく実施確認と事業推進
○特に工賃は初期予算額遵守
・昨年度対比4％増厳守
・自立生活に必要な工賃収入の下落防止

○利用者増の定期的推進
日の出町・あきる野市は人口97千人。一方B型事業所は7施設もある。特徴ある施設作りの案を作成し、最終4半期に活用。

◎高齢化対策への取り組み
・障害者年齢を視野に、特に50歳以上の利用者への対応策を個別支援計画だけではなく、関係職員で対策チームをもって進める。
・近隣の医療機関・高齢者施設との日常の綿密な連携システムを強化し、健康維持対策に努める。

未来を支える新事業開発
利益率の高い職種を開発する

弊会の事業の中軸を占めているリネンサプライは、

①土地、建物の面積が膨大
②機械整備投資額が大きい
③光熱水費、配送費が膨大
④従事者が多く必要
⑤競合業者が多い

これに比較し観賞魚事業は、①～⑤全てにおいて投資金額が少額で事業が出来、利益率も高い。また、ウエス事業も同業者数は比較的多いが、①～④において投資額や規模が小さく利益率は高い。現在、メダカ養殖を研究しているが①～⑤それぞれの規模は小さい。

世の中はヨコ文字が多くなり、年配者には理解出来ない社会になってきているが、年々高齢者人口が増加の一途、さらに預貯金も若年層に比較出来ない。何が喜ばれるか？が鍵。次回の経営推進会議には、出席する役職員、一人一人が最低一案を披露する時間を設ける会にしたら如何か。

コロナに負けない
常軌を外れた事はしない事
支出減より収入増を考える事

冒頭に述べたが、後ろ向きになると敗者になるケースが多い。一番危険な方法は、収入を増やす事に取り組まず、支出減に走る事。リハビリの前身が経営破綻を起こし、3億5千万円の借財を抱え込んで、我々残された20～30歳台の若者で再建に取り組み、僅か10年で債務を返済し、社会福祉法人を取得した。あの苦しい中でも、従事者の給料は一度も下げなかったし、遅延した事も無かった。給料を下げるのであれば、経営者自らの給与を大幅減するか返納である。

利用者の給与を下げるなど以ての外である。まして、全国では平均月給16千円しか支給していないのである。収入は経営者が責任を持つもので、一回下落させたり、失った売上はなかなか戻らないから、他を開拓しに行くのである。その事を理解する事である。

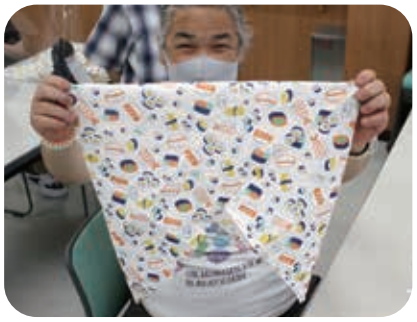
□令和2年度補正予算
・収　入　15億8640万円
・支　出　14億7630万円
・予備費　1億1010万円

事業所だより

＝コロナ禍でも楽しみながら出来る事＝

コロナ禍で感染予防を常に意識し、緊張状態が続くことにより知らず知らずのうちにストレスが蓄積されてしまう中で、立川・日の出事業所ではコロナ感染予防対策をしっかり行いながら、利用者の皆さんに安心して、楽しく参加してもらえる企画を話し合って決めている。

季節を意識した内容やコロナ感染予防に役立つような企画を練り、6月にはマスク作り、7月にはよく分かる新型コロナ講座、8月には熱中症予防講座やレジ袋有料化に向けてオリジナルエコバッグ作りなどを開催した。



手ぬぐいで簡単エコバッグ作り（立川）

直近の企画では、9月1日防災の日にちなみ、災害時の対応について映像やクイズで楽しみながら勉強、新聞紙スリッパ、紙コップなど防災グッズ作りを開催した。

夏らしい柄マスクで感染予防もバッチリ！（立川）

これからはウィズコロナという生活の中、我慢の日々ではなく、楽しみながらも仕事やプライベートの充実に繋がるような企画を考え、皆で一緒に乗り切っていきたい。

（福祉部セクションチーフ　泉恵子）

HAPPY BIRTHDAY

10月

立川事業所

稲葉　光 さん
上田　直樹 さん
笠原　喜一 さん
佐藤　友美 さん
須野原　明 さん
玉越　修 さん
内藤　陸 さん
平山　東秀 さん
松浦　優美 さん
宮﨑こずえ さん

日の出事業所

石﨑　憲治 さん
伊藤　京汰 さん
大野　隆代 さん
岡部　浩子 さん
北久保　亮 さん
長谷川明日香 さん
樋口　裕二 さん
平井　景子 さん
望月　裕樹 さん

11月

立川事業所

石川莉帆奈 さん
大槻　晶子 さん
小倉　利洋 さん
尾﨑眞理子 さん
坂入　俊浩 さん
富樫　弘道 さん
松田　和也 さん
三浦貴美枝 さん

日の出事業所

秋山　佳輝 さん
岡村　昌美 さん
加藤　裕喜 さん
加藤　友紀 さん
粉川　幸二 さん
清水　信宏 さん
高井　史雄 さん
武田　浩子 さん
友野　浩司 さん
浜島　洋 さん
藤井　梨花 さん
吉田　龍翔 さん

【令和元年度】TRA親睦会決算報告について

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）TRA親睦会決算報告について、上記の通り報告する。（管理部マネージャー　池田静恵）

令和元年度 TRA親睦会 決算報告

【収入の部】

科目	決算額	備考
会費収入	1,088,700円	延 3,629人分
雑収入	8円	預金利息
前年度繰越金	1,236,182円	
合計	2,324,890円	

【支出の部】

科目	決算額	備考
福利厚生費	1,159,307円	誕生日祝い、行事等
慶弔見舞金	205,000円	
雑費	0円	
次年度繰越金	960,583円	
合計	2,324,890円	

彩り豊かな手作りマスク（日の出）

簡単！風呂敷エコバッグ作り（日の出）

◆編集後記◆

ご意見や特集希望等、ございましたらお気軽にお問合せ下さい。（高橋章）